



こんな本も読んでみましょう

選者：川崎市立西有馬小学校 教諭 福山 里加

日本の
昔話

「さるじぞう」

さるたちがはこんだ、おじぞうさまのしょうたいとは…？

あるところに、しょうじきもののおじいさんがいました。山でひとしごとをおえ、うつらうつらいねむりをしていました。すると、おじいさんをおじぞうさまだとかんちがいをしたさるたちが、おじいさんをいえへとかつぎだしました。さて、このあとおじいさんはどうなるのでしょうか？

日本の
昔話

「さんまいのおふだ」

おそろしいものからたすけてくれる三まいのおふだの力とは？

あるところに、おしょうさんとこぞうがいました。「おそろしいものからたすけてくれる」という三まいのおふだをもらったこぞうは、おしょうさんのつかいで山へいきます。そこで、おそろしいやまんばにであいます。こぞうは三まいのおふだをどのようにつけたのでしょうか？たすかったのでしょうか？

日本の
昔話

「てんぐのかくれみの」

からだげきえるかくれみので、大はしゃぎ！

あるむらに、げんきなこぞうがすんでいました。てんぐをだましてかくれみのをもらいますが、おっかさんにいろりでもやされてしまいます。もえたのこりの「はい」をからだにぬりつけると、こぞうのからだはきえてしまいました。さて、このあとまちにでたこぞうはどうしたのでしょうか？

日本の
昔話

「ものぐさたろう」

なまけものには、じぶんもしらないひみつが…！

むかし、「ものぐさたろう」とよばれる、たいへんななまけものがいました。しごとせず、一日じゅうごろごろして、たなか(うた)ばかりよんでいました。しかし、あることでひょうばんになり、じぶんもしらないひみつがあきらかになります。「ものぐさたろう」はそのあと、どうなるのでしょうか？